

2年生の総合実習では、7月に受験する技能検定の練習が始まりました。この検定は、働くうえで必要な技能の習得レベルを評価する日本の国家検定制度で、合格者には「技能士」の称号が与えられます。3級では基礎的な造園の技能と知識が求められます。



実技の練習では竹垣の作製を行っています。1年生で身につけた「いぼ結び」を思い出し、竹の向きなどに注意して結びます。



判定試験（実物を見て、樹種名を答える試験）もあるので、樹木名と特徴も学びます。

検定まで残り2か月！全員合格目指して頑張りましょう！！